

日 時	令和6年2月2日(金) 13:30~15:20
学 校 名	鹿沼市立北中学校
対 象	1年生 138名
講 師	<p>奥山 浩司 氏 (日本プラスター株式会社 代表取締役)</p> <p>川嶋 健市 氏 (株式会社北研 相談役)</p> <p>酒井 誠 氏 (株式会社酒井建築設計事務所 代表取締役社長)</p> <p>陳 賢徳 氏 (株式会社フェドラ 代表取締役)</p> <p>林 明夫 氏 (株式会社開倫塾 代表取締役社長)</p> <p>屋代 郁夫 氏 (株式会社サンテック 取締役副社長)</p>
内 容	<p>今回は職業講話として、「働くことの楽しさや厳しさを知り、勤労や職業に対する関心・意欲を高める」というテーマで授業を行った。事前に各講師の会社ホームページを見て、自分の興味のある業種を選択する形式で授業を行った。生徒が主体となって講師の案内から司会進行までを務めていて、とても立派な生徒たちだと感じた。</p> <p>奥山氏は、イチローの小学校の時の作文を引用し、夢を持って努力する事の大切さを語っていた。夢に本気になって努力すれば、必ず叶うと生徒たちの背中を押していた。</p> <p>川嶋氏は、大学時代の教授との出会いをきっかけに、自分の今の仕事にたどり着いたことを語り、出会いを大切にするよう、生徒たちにメッセージを送っていた。</p> <p>酒井氏は、生徒からの「仕事をする上で大変なことは？」という質問に対し、「大変なことは沢山ある。だけどその分それをやり切った時の嬉しさが大きい。」と、「大変さ」と「やりがい」は同じ大きさだと語っていた。</p> <p>陳氏は、鹿沼市で自身が関わっている朝鮮人参の保存協会のことについて話し、自分の会社の経営だけではなく、地域に貢献することも会社の役割の一つだと語った。</p> <p>林氏は、「仕事をする上で大事な事は何か？」という質問に、「メモを取ること」と答えていた。社会人になったらメモは必須。だから今から授業の内容をノートに取ることを続けてください、と伝えた。</p> <p>屋代氏は、社会人として大切なことは挨拶、時間、コミュニケーション、言葉遣いと話し、中学校でやっていることが将来の役に立つということを具体例を用いて伝えていた。</p> <p>どの講師も、自分の企業の仕事内容と絡めながら、仕事の意義や、今やっておくべきことを中学生たちに分かりやすく伝えていた。</p>

